

○お出かけトークにおける意見・提言に対する市の検討内容

○日時	○開催テーマ、参加者	○開催趣旨
H22.4.27	古井地区多文化共生推進座談会 約40名	日本人と外国人市民が協働して暮らせる地域を育むために、日本人と外国人の文化の違いや、日本での生活について外国人が感じていることを率直に語っていただきました。

No.	○参加者の意見・提言	○関係課	○すぐに対応を検討する事項(含:対応済み事項)	○中・長期的に検討する事項	○対応が困難な事項
1	地域活性化のために、外国人にも美濃太田駅南の空き店舗を利用させてほしい。	商工観光課	現在、美濃太田駅前においても、多くの外国人が経営する店舗や事務所があります。出店に当たっての具体的な計画を作成され、相談いただければと思います。		
2	行政文書は日本語ばかりなので、意味が読み取れない。せめて中国語やポルトガル語の概略版を作ったり、振り仮名をつけたりしてほしい。	多文化共生課		外国人市民の定住化の進展により、翻訳すべき言語の指針なども今後必要となりますが、当面は、仮名やローマ字を振るとともに、やさしい日本語の使用にも心掛け、外国人市民にも分かり易い行政文書を発信できるよう市内の意識啓発を図ります。	
3	美濃加茂市で採れる食材を使って新しいブランドを作ってほしいというようなことをもっと発信してはどうか。	商工観光課	現在、いろんな団体で新しいブランドの開発を行っております。そのような取組みの発表の場としてグルメ大会を開催することも考えられます。また、その大会をイベントとしてPRしていくことも必要と思います。単なる単発のイベントにしないような計画を策定することが必要と考えております。		
4	「市長が選ぶ、地元の食材を使った外国料理認定大会」のようなイベントを開催してみてもどうか。	商工観光課	外国料理認定大会のようなイベントの開催をすることは十分可能であると考えております。しかし、単なる一過性のイベントではなく、新しいブランドに繋がるように、また、美濃加茂市の名物イベントとなるようにという思いもあります。このような大会を考えている方との連携により開催について検討していきたいと思っております。		
5	災害に備えて、中国人も防災訓練に参加させてほしい。	防災安全課	各地域で防災訓練が計画されていますので、自治会長さんに連絡して、ご参加ください。	市が行う広域的な防災訓練は、隔年で実施されており、今年には実施されません。来年10月には、太田・古井地区で開催予定ですので、ぜひご参加ください。参加方法については、今後協議していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。	
6	外国人でも道路標識の意味が分かるように表記できないか。	防災安全課	免許を取得されたときの規則に関するテキストをご覧いただくか、JAFが作成している外国語の案内書を活用してください。	加茂警察署とも協議し、外国人向けの講習会の開催などを検討します。	交通標記の変更および看板追加は法令上非常に困難です。
7	森山町3丁目地内に、見通しが悪く危ない場所がある。歩道を整備したり、階段を作ったりしてもらえないか。	土木課			調査した結果、現在使用されている道は、民地内の通路です。すぐに市で整備することは、用地の取得などの問題もあり難しい状態です。
8	古井小学校の「のぞみ教室」を、体育館ではなく、校舎の教室を使って行えないか。もしできないなら、夏の暑さと冬の寒さの対策をしっかりとってもらいたい。	学校教育課	「のぞみ教室」の場所の変更はありません。寒さ対策としてファンヒーター3台(学校用の大型2台・小型1台)で、暑さ対策では、天井扇風機を1機増設し2機に、大型扇風機を3機設置します。また、窓や体育館ステージ側の扉を開放して風通しを良くするなどに対応します。		